

佐沼高等学校

校訓 至誠・「献身・窮理・力行」



1 基本データ

創立：明治35年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：671名
所在地：〒987-0511
登米市迫町佐沼字末広1番地
TEL：0220-22-2022
FAX：0220-22-2023

ホームページアドレス：
<https://sanumamyswan.ed.jp/>
代表者電子メールアドレス：
sanuma@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR東北本線「瀬峰駅」下車→登米市市民バス南方線佐沼方面行き乗車（35分）
→「佐沼高校正門前」下車 徒歩1分
JR東北本線「新田駅」下車→登米市市民バス新田線佐沼方面行き乗車（21分）
→「佐沼高校北」下車 徒歩2分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

『佐高で咲こう』

プラス思考と積極的挑戦を意識した『積極的なチャレンジの機会を求めよ!』をスローガンに、「咲こうとする意志・意欲」の結晶として自分たちの夢の実現のために、佐高で新しい歴史を創っていきましょう!

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は県の北部、登米市の農業及び商工業の中心地である迫町にあります。近くには白鳥やガンの飛来地として有名な伊豆沼があります。本校は、明治35年旧制宮城県第二中学校の登米分校としてスタートしました。その後独立して大正8年に佐沼中学校と名前を変え、昭和23年には現在の名称である佐沼高等学校と改称するとともに、男女共学の学校となりました。今年で創立123周年を迎える伝統のある学校であり、27,000名を超える卒業生が、各界で活躍しています。

(2) 教育方針

校訓の「『献身・窮理・力行』の三徳を至誠をもって貫く」の教えと校是の「文武両道」を大切に、21世紀の国際社会を生き抜くことができる英知、健全な心身を持った徳性の高い人物を育成することを教育目標としています。また、伝統として人格の陶冶と学問の探究を校風としており、常により高い学力の獲得と豊かな個性をもった生徒の育成に努めています。さらに、拠点校として、地域の教育力向上に貢献しています。

これらの目標を実現するため、以下の取組を行っています。

- ・地域理解講演会、職業人講話（1年）
- ・Sanuma Summer University
（大学教授による出前授業）
- ・夏期・冬期課外（全学年）
- ・進路講話（全学年）
- ・探究発表会（全学年）
- ・先輩に聞く（1・2年）

(3) 教育課程の特徴

進路目標達成を視野に入れた授業づくりをしています。特に、多くの生徒が希望している大学進学へ重点をおいた内容となっています。

1年次：基礎学力の養成（国語・数学・英語の重点的な指導）

2年次：類型制（文系と理系）による進路目標達成に向けての早期取組

3年次：多様な進路に応じた科目選択

授業は50分の7時間（月・金曜日は6時間）で思考力の向上をはかり、「自律的学習者」の育成を目指しています。

総合的な探究の時間では、地域人材・地域資源をはじめ国内外との連携を意識し、地域課題研究・学問研究・進路プランニング・小論文指導など、3年間の系統的な指導を行っています。

新1年生には、学習の仕方、高校生活の概要等についてオリエンテーションを行っています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

学校行事は、ダンスフェスティバル、佐高祭、スポーツフェスティバルなどがあり、生徒による主体的な運営がなされています。生徒会活動そのものも活発に行われています。

部活動も盛んであり、令和6年度は、ボート部男子舵手付クォドルプルがインターハイに、美術部が全国高等学校総合文化祭に出場しました。また、陸上競技部男子5000mH、棒高跳、砲丸投、円盤投、女子棒高跳、ボート部男子シングルスカル、ダブルスカル、女子シングルスカル、ダブルスカル、舵手付クォドルプルで東北大会出場を果たしています。さらに、陸上競技部男女棒高跳、ボート部男女ダブルスカル、男子舵手付クォドルプルは東北新人大会に出場し、男女ダブルスカル、男子舵手付クォドルプルは全国選抜大会に駒を進めました。

県総体ではラグビー部が36年振りの優勝、男女ソフトテニス部団体、柔道部男子団体がベスト8入りを果たすなど、団体競技においても目覚ましい活躍をみせています。

県新人大会では、ラグビー部、柔道部女子48kg級、63kg級が第2位となり東北新人大会に出場、男子バドミントン部団体、剣道部男子個人の各競技、選手が上位入賞を果たしました。

大会成績のみならず「何事にも真摯に取り組む人物の育成」という本校の教育目標に相応しい活躍を見せました。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
国公立大学	36	32	37
国公立短大	1	2	1
私立大学	114	99	119
私立短大	4	5	8
専各学校	38	45	43
就職	16	22	16
その他	24	5	9
卒業生計	233	210	233

主な進路先（令和7年3月卒業・77回生）

()内は人数 (1)は省略

<国公立大学>

東北大学、宮城教育大学(5)、弘前大学(3)、岩手大学(4)、秋田大学、山形大学(3)、福島大学(4)、筑波大学、埼玉大学、宮城大学(3)、青森県立保健大学、青森公立大学(4)、岩手県立大学、秋田県立大学、東北農林専門職大学、山形県立米沢栄養大学、高崎経済大学

<私立大学>

東北学院大学(21)、東北福祉大学(23)、東北工業大学(4)、東北医科薬科大学(3)、宮城学院女子大学(8)、尚絅学院大学(4)、仙台大学(2)、東北文化学園大学(5)、石巻専修大学(2)、仙台青葉学院大学、東北生活文化大学、青森大学、盛岡大学(2)、岩手医科大学[看](2)、岩手保健医療大学(2)、東北芸術工科大学、北海道情報大学、北海道文教大学、国際医療福祉大学(4)、上武大学、駿河台大学、獨協大学、文教大学、SBC東京医療大学、明海大学、杏林大学、国立音楽大学、駒澤大学、実践女子大学、順天堂大学、専修大学、大正大学、帝京大学、東京家政大学、東京電機大学、武蔵野大学、立正大学、神奈川大学(2)、関東学院大学、横浜薬科大学、帝塚山大学、龍谷大学、関西大学、関西外国語大学、他

<専修各種学校>

石巻赤十字看護専門学校(2)、仙台医療センター附属仙台看護助産学校(2)、仙台医師会看護専門学校、葵会仙台看護専門学校、仙台徳州看護専門学校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、他

<就職>

国家公務員[一般職](3)、宮城県職員[一般事務][学校事務][警察事務][警察官B]、仙台市職員[消防]、南三陸町職員[行政]、登米市職員[行政](2)、[消防](2)、株式会社ヒロセ、迫リコー株式会社、株式会社松島センチュリーホテル

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

ラグビー部東北新人大会出場

県新人大会でラグビー部が準優勝を果たし、令和7年2月4日～8日に女川町総合運動公園で行われた東北新人大会(Ⅱ部)に出場しました。降雪のため順位決定戦が実施されませんでした。県外の強豪校を相手に最後まで戦い抜きました。



鹿野 人和さん(南方中出身)からのコメント

東北新人大会では初戦敗退という悔しい結果に終わってしまいました。この悔しさを糧に県総体に向けて頑張っていきます。ラグビー部員のほとんどが高校からラグビーを始めました。そのような人達でも県・東北選抜選手となるなど大活躍しています。中学生の皆さん、ラグビーは痛そうというイメージがあるかもしれませんが、痛いことは何もないので是非入部してください。

ボート部全国選抜大会出場



東北選抜大会で男女ダブルスクルが第1位、男子舵手付クオドルブルが第2位入賞を果たし、令和7年3月22日～23日に静岡県天竜ボート場で開催される第36回全国選抜大会に出場しました。

新井 瞬さん(佐沼中出身)からのコメント

ほとんどが未経験者の中、仲間たちと多くの困難を乗り越え全国選抜大会へ出場することができました。目標としていた上位入賞には届きませんでしたが、全国の舞台上で戦えたことを誇りに持ち、県総体そしてインターハイに向けて頑張っていきます。佐高ボート部は初心者でも大きな大会に出場できる唯一無二の部活動です。興味のある方は是非ボート部を覗いてみてください。

美術部全国総文祭出場

美術部2年の阿部真悠子さんが第77回宮城県高等学校美術展で優秀賞を受賞し、令和7年7月26日から香川県で開催される第49回全国高等学校総合文化祭(2025かがわ総文)美術・工芸部門への出品が決定しました。『FUNNY OWL』→



阿部 真悠子さん(津山中出身)からのコメント

私は「近くで見ても遠くで見ても楽しめる作品」をテーマに、動物や模様、植物で構成されたフクロウを描きました。動物や模様の色合い、細かさに苦戦して心が折れそうになりましたが、諦めず最後まで制作を続けたことで県代表として全国総文祭に出品することができました。全国から集められた作品から様々なことを学び、自身の成長に繋げられるよう頑張りたいです。

(2) 学校三大行事

ダンスフェスティバル

1年生から3年生までの縦割り、校訓でもある献身、窮理、力行の各団に分かれて覇権を競い合います。全員ダンス部門、有志グループが演じる代表グループ部門、事前に撮影したものを上映する映像部門があります。



佐高祭

一般公開では、自然科学部の研究発表や吹奏楽部、箏曲部、軽音

楽部によるステージ発表、各部のパネル展示、実演等が行われました。校舎内外では3年生各クラスや地元商店街コラボ企画による飲食販売の模擬店が出店され、大盛況でした。



スポーツフェスティバル

各学年2クラス合同の計9チームで佐高杯を争います。ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、タッチラグビー、ドッジボール、バドミントン競技が開催され、チーム一丸となって大いに盛り上がりました。開閉会行事も毎年趣向が凝らされています。

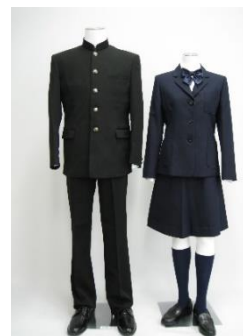


(3) 学校制服紹介

昔ながらの学生服で、男子は黒の詰襟襟服、女子は紺色制服を着用することが義務付けられています。創立時から100年以上の歴史を持っています。

夏場や授業時には、「Sanuma」の頭文字「S」のイニシャルが入ったベストやセーターの着用も認められています。

男子は校章の図案が入った金色のボタンが特徴的です。女子は学年が上がるにつれて黄、緑、赤と変わる胸章やリボンがポイントです。2020年4月から女子のスラックスも導入されました。



(4) 施設紹介



2021年6月に新体育館、2022年10月にテニスコートが完成。授業や部活動で大いに活用されています。体育館には地元産の木材がふんだんに使用され、木の温もりが感じられる開放感ある構造となっています。

現在、仮設校舎での生活を余儀なくされていますが、全ての教室にエアコン及び電子黒板が完備されており、充実した教育環境が整っています。新校舎は今年度8月末に完成予定です。

中学生の皆さん、県内一新しい学び舎で、ともに青春を謳歌しましょう。



4 在校生からのメッセージ

生徒会長 千葉 温人さん(中田中出身)からのコメント

本校は県北の拠点校として、地域の小中学校や高等学校の範となる学校です。高い進学率に加え、県大会における上位入賞や全国大会を狙える部活動が多くあり、本校教育方針の「文武両道」に励んでいます。個性豊かな先生方や生徒たちが多くいるため、毎日笑顔が溢れています。大変充実した生活を送れる高校です。皆さんのご入学を心からお待ちしております。

応援団長 山内 柁弥さん(中田中出身)からのコメント

本校は部活動や学校行事が大変盛んです。運動部は東北大会、全国大会に出場している部が多く、文化部も各種コンクールで受賞したり高評価を受けたりするなど素晴らしい成績を残しています。学校行事ではクラスが一致団結し、仲間と一緒に過ごせるかけがえのない思い出となります。是非友だちや先生方と支え合いながら最高の高校生活を送りましょう。